

花巻市立湯本小学校校報



ゆもとっ子

文責：門屋 深雪

【教育目標】

「心豊かで
たくましく生きる
湯本っ子」の育成

1年生緊急時引き渡し訓練

6月28日（金）、1年生の緊急時引き渡し訓練を行いました。お忙しい中、参加いただきありがとうございました。昨年度は全校実施、今年度は1年生のみの訓練実施となりました。

運動会前の5月21日、校庭脇に熊が出没した際に全校引き渡しとなっているためか、1年生の訓練も大きな混乱もなくスムーズに引き渡しを終えることができました。

学校で行う避難訓練も、現在では、担任が近くにいない休み時間や学校職員が通常時より少ない日を想定しての訓練など、より条件が厳しい学校生活場面を想定しての訓練を実施する学校が多くなっています。日頃の多様な備えが大切であると考えます。

ご協力いただいた、1年生の保護者の皆様、ありがとうございました。

学校保健委員会（6/20）

第1回学校保健委員会で、話題になったことや学校医の先生に指導されたことを報告いたします。

【学校から】

- ・**保健活動**→60プラスプロジェクトの推進、歯科指導を充実していく。
- ・**防災教育**→安全生活に必要な知識・習慣・態度とともに判断力の育成に努めていく。
- ・**給食・食育**→献立作成とその意図について、また年間計画に基づいた食育指導を推進していく。
- ・**定期健康診断結果**→肥満傾向の児童は全体の15.6%。視力1.0未満の割合が高い。未処置歯のある児童は前年度より減少している。

【学校医から】

- ・スマホとの付き合い方により学力の差。
- ・頭痛の原因は、メンタルか、緊張か、肩こりか、寝不足か、いずれ早期に医療につなぐ。
- ・今年はいく歯が少なかった。咬合、顎が小さい子が増えている。よくかむ習慣付けを。食材を大きく切ると、前歯でかんで奥歯に送ることで顎を育てることになる。
- ・プールの適切な塩素管理をお願いしたい。

湯本小学校学校保健委員会

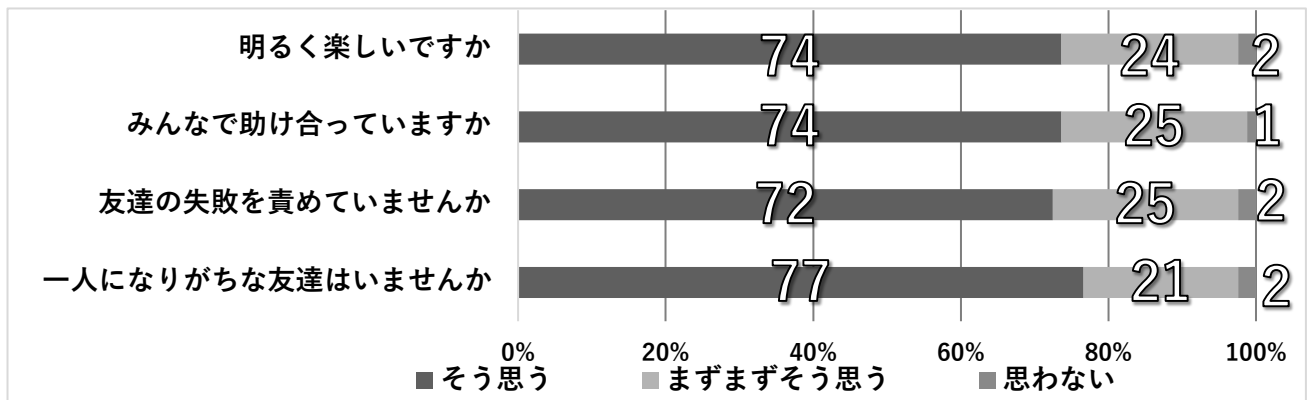
- | | |
|----------|------------------|
| 会 長： | 湯川宏胤（ゆかわ脳外科） |
| 副 会 長： | 鎌田優見（PTA 会長） |
| 副 会 長： | 門屋深雪（校長） |
| 学 校 医： | 齋藤良輔（齋藤整形外科） |
| | 鈴木利久（西大通り耳鼻咽喉科） |
| | 佐々木雄一（ささき眼科） |
| 学校歯科医： | 多田建造（多田歯科） |
| | ：藤原顕輔（花巻みなみデンタル） |
| 学校薬剤師： | 八重樫浩子（スクラム薬局） |
| 地区諸団体： | 長坂佳枝（保健推進委員） |
| | 伊藤憲彦（交通安全協会） |
| | 松本弘子（交通安全母の会） |
| | 吉田信幸（花巻温泉駐在所） |
| | 大澤香里（ゆもと幼稚園長） |
| | 高橋美紀子（湯本保育園長） |
| | 鎌田亜矢子（地区担当保健師） |
| | 鎌田和寿（PTA 厚生部長） |
| 学校 委員： | 白石圭（教務主任） |
| | 高橋浩司（生徒指導主事） |
| | 小笠原美和（栄養教諭） |
| 学校 運営委員： | 野寺悟（副校長） |
| | 林裕子（保健主事） |
| | 菅原はつき（養護教諭） |

第1回生活（いじめ）アンケート結果（1学期）

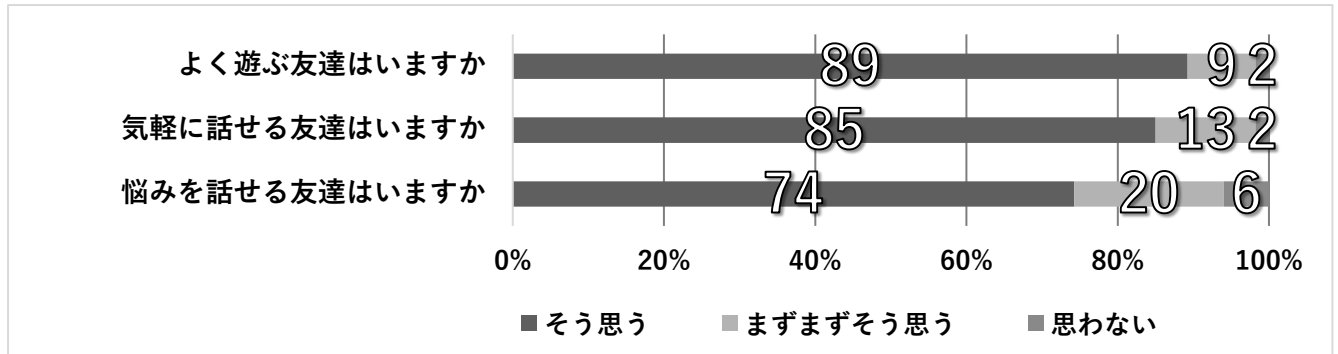
本校では、学期に1回の生活（いじめ）アンケートを行い、その後、学級担任と全児童との面談を行っています。いじめ事案と考えられる言動や情報提供があった場合、校内のいじめ対策委員会で内容を共有し、事実確認のもと、いじめを受けた子どもの気持ちに寄り添い、解決に向けて組織的に指導を行うことになっています。いじめは、自分からは打ち明けることができない場合が多くあります。また、気をつけなければならないのは、いじめと思われる行為に対して、本人も周囲も受容してしまうことです。「見ていたけれども、知っていたけれども、されていたけれども、そのままにしていた。」と言うことがないようにしていかなければなりません。

学校、家庭と双方が協力しながら、未然防止、早期発見、早期対応に努めて参りましょう。気になる様子が見られた場合には、遠慮なさらず担任や学校にご連絡ください。

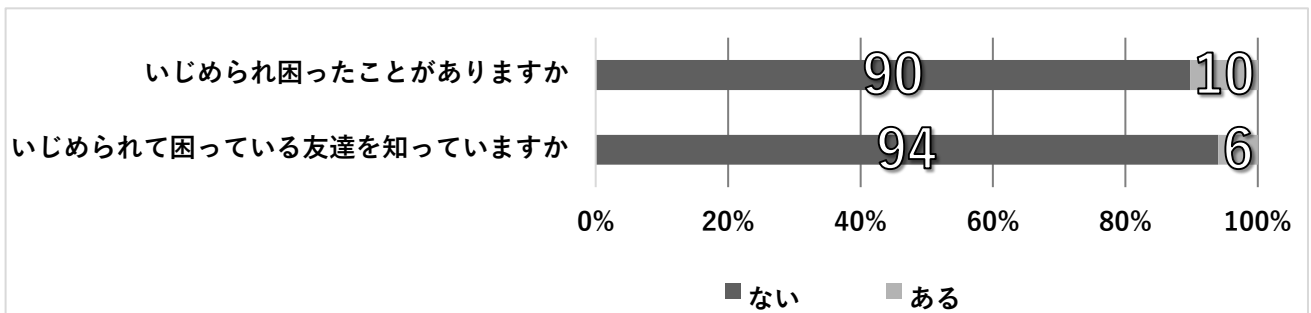
【学級について】肯定的な回答は、90パーセントを超えている。一人になりがちな児童へ支援。



【友達について】悩みを話せる友達がいないと回答した児童への日頃からの支援が必要。



【文章記述から】グラフ下参照。



文章記述覧には、「にらんでくる」「遊びに入れてくれない」「無視された」「〇〇を取られた」「押された」「靴を投げられた」「相手の口調が強すぎる」等々の記載がありました。内容について該当の児童への事実確認を行い、指導を行いました。例えば、強い口調や乱暴な行動を取りがちな傾向がある場合、一度の指導で収まることは難しいため、継続して指導していくことが必要。